





114  
A 3960



日本文学

研究

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄

前稿産糸ハ一糸ノ細大ノ不同アリ其上同束中ノ

糸上ノ各位ヲ異ニ片上面糸細下面糸太直

毛羽亦ハ所アリ故ニ降高已クテ得スソト者ヲ別

毛羽立テ軟弱ノ高<sup>海</sup>同束ノ糸ヲ少ツテ上下

ノ等生糸ノ高<sup>海</sup>置テテ九分ノ高<sup>海</sup>名ニ度シテ

レ

十五

三







... 西條... 難... 往... 同包

中央... 切... 色... 見... 高價

... 中... 甲... 美... 氏... 高價

... 依... 同... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包... 糸... 弱... 包

... 且... 良... 要... 別... 其... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包

... 糸... 弱... 包



此糸は、  
是の糸は、  
此糸

此糸は、毛の立つ處より、此糸は、  
絹の響

鍋中の温度は、  
鍋中ノ温度は、

五位下等糸と糸の、  
五位下等糸ト糸ノ

響の響は、糸が、  
響ノ響ハ、糸ガ

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、

この糸は、  
コノ糸ハ、



